

養成人材

人文学及び関連する社会科学の諸成果を継承し、多様な文化及び価値観を理解するとともに、自ら問題を設定・解決し、国内外の人々との確に意思を疎通できる能力を培うことを通して、現代の文化及び社会の諸問題に対処し得る人材を育成することを教育研究上の目的とする。

学位授与の方針

教養学部では、現代の文化及び社会の諸問題に対処し得る人材になるため以下の知識、能力を身につけ、卒業要件として定めている124単位を修得した学生に学士(教養)の学位を授与する。

(1) 専門的な深い知識の修得に関連する事柄

所属する専修課程（グローバル・ガバナンス専修課程、現代社会専修課程、哲学歴史専修課程、ヨーロッパ・アメリカ文化専修課程、日本・アジア文化専修課程）における学修によって、次のa～dを達成している。

- a. 各分野で蓄積された先行研究の成果をよく理解し、体系的で深い専門知識を修得する。
- b. 専門分野の方法（語学を含む）に習熟する。
- c. 専門分野に関して自身で問題を設定し、それについて探求・解決する能力を身につけている。
- d. 自身の研究成果を他者に説明し議論する能力を身につけている。

(2) 専門性のある幅広い基本的知識の修得に関連する事柄

次のa, bを達成している。

- a. 人文学・社会科学・自然科学に関する幅広い基本的知識を修得する。
- b. 所属する専修課程の専門分野に関連する分野の基本的知識を修得する。

(3) 知識を活用できる汎用的な能力の修得に関連する事柄

次のa～dを修得している。

- a. 幅広い視点に立って、自身で問題を設定する能力
- b. 設定した問題について情報や知識を的確に調査・収集する能力
- c. 設定した問題について多面的かつ論理的に考える能力
- d. 自らのアイディアを的確に伝える能力（語学の運用能力を含む）

(4) 学部における人材養成の目的に合致した能力の修得に関連する事柄

次のa, bを修得している。

- a. 国際的視野を持ち、国内外の多様な文化および価値観を理解する能力
- b. 現代の文化や社会の問題にさまざまな形で取り組む能力

教育目標

- 1 人文社会科学系専門科目を学修するための幅広い基礎を修得する。
- 2 所属専修課程（日本・アジア文化）における基本的な専門知識を修得する。
- 3 所属専修課程（日本・アジア文化）における特定の専門知識を修得する。
- 4 所属専修課程（日本・アジア文化）における専門分野の理解を深め、その知識を運用するための方法を修得する。
- 5 演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程（日本・アジア文化）の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその成果を発表する能力を育む。

年次	科目	到達目標	教育目標1	教育目標2	教育目標3	教育目標4	教育目標5
1～2	日本・アジア文化論	日本・アジア文化研究の具体的な論点や研究方法、研究の現状などについて理解する。	◎	○			
1～2	日本語学概説A	日本語がどのような仕組みの言語であるのかを理解する。普段無意識に使っている日本語を分析の対象として捉え直せるようになる。国語教育と日本語教育での言葉の捉え方を比較し、それぞれの特徴を理解する。	○	◎			
1～2	日本語学概説B	日本語学分野の基礎用語を取り上げ、日本語学の基礎知識を修得するための科目です。本講義の目標及びテーマは以下の3点です。 ・日本語に関する基礎知識を習得することを通して、日本語の特質とは何かを理解すること。 ・外の目（他言語）から見た日本語の特徴を知ることにより、日本語学の基礎知識を学ぶと同時に外国語学習にも役立つ知識を身につけること。 ・授業中は「ら抜き言葉」に代表されるような身近な言語現象を検討しつつ、考える力を培うこと。	○	◎			
1～2	日本文学概説A	日本古典文学における、各ジャンルの特性について理解する。ジャンル間の相互関係について理解する。	○	◎			
1～2	日本文学概説B	二〇世紀初頭の重要な文学運動であるプロレタリア文学について、基本的な知識を得る。	○	◎			
1～2	中国古典文化概説A	講義内容を理解し、中国思想史の特徴や展開を学び、その東アジア（日本や韓国など）における影響などを考える視点・能力を身につける。	○	◎			

1~2	中国古典文化概説B	1. 漢籍書誌学の目的と方法がわかる。 2. 日本における書籍の装訂の変遷がわかる。 3. 日本における漢籍受容の意義がわかる。 4. 日本における漢籍受容の大きな流れがわかる。 5. 日本における漢字営為の特徴がわかる。 6. 現存漢籍を始めとする古典籍を人類の遺産として見ることができる。	○	◎			
1~2	中国近現代文化概説	広範な文化領域の中から関心の所在を見出し、調べる方法を学びます。	○	◎			
1~2	韓国文化概説A	韓国を取り巻く諸問題について論理的に考える力を養う	○	◎			
1~2	韓国文化概説B	韓国の文化事象を総体的かつ客観的に認識することによって、韓国人のアイデンティティーおよび韓国文化の特徴について理解を深める。	○	◎			
1~2	日本史概説A	原始・古代から現代に至る日本史の概略を論述できるようになる。	○	◎			
1~2	東洋史概説A	幅広い視野でアジアの歴史を捉える。 様々な歴史的事件が起きた背景を理解する。 授業で得られた情報・知識に基づき自分の意見を述べる。	○	◎			
1~2	Investigating Japanese Art History via Contemporary Visual Media	Understanding art historical concepts through analysis of products of contemporary visual media	○	◎			
1~2	Pre-modern Japanese Literature	日本文学史を通覧し、時代ごとにどのような特徴があるかを把握する。	○	◎			
1~2	Modern Japanese Literature	所属専修課程（日本・アジア文化）における基本的な専門知識を修得する。	○	◎			
2~4	日本語教育実習Ⅰ	日本語教育演習で培った日本語教育の基本知識をいかし、日本語教育の現場を実践します。 日本語教育実習を通じて、現場の教育を理解すると同時に具体的な日本語教育に関するノウハウを身につけます。 ・後日個別説明会を実施します（実習先、実習時期、実習費用等）			○	◎	
2~4	日本語教育実習Ⅱ	日本語教育演習で培った日本語教育の基本知識をいかし、日本語教育の現場を実践します。 日本語教育実習を通じて、現場の教育を理解すると同時に具体的な日本語教育に関するノウハウを身につけます。 ・後日個別説明会を実施します（実習先、実習時期、実習費用等）			○	◎	
2~4	日本語教育実習Ⅲ	日本語教育演習で培った日本語教育の基本知識をいかし、日本語教育の現場を実践します。 日本語教育実習を通じて、現場の教育を理解すると同時に具体的な日本語教育に関するノウハウを身につけます。 ・後日個別説明会を実施します（実習先、実習時期、実習費用等）			○	◎	
1~3	日本古典研究法	(1) 崩し字で書かれた資料の仮名文字を読解することが出来る。 (2) 日本古典文学を研究するためのデータベースを適切に利用することが出来る。			○	◎	
1~3	中国古典研究法	中国古典を扱う場合、どのような手順で読解をすすめるのかについて学び、習得していただきます。 ・各時代の文体と特徴を理解し、特徴が明かな文についてはその時代を推定できる。 ・書誌学の重要性を理解し、その基礎知識を習得している。 ・異体字（と正字体）や避諱を理解し、簡単な釈文ができる。 ・基本的な文法を理解し、簡単な断句および書き下しができる。 ・音韻について理解し、通仮借を理解できる。 ・漢文が日本の言語や伝統文化の一部として重要であることを説明できる。			○	◎	
1~3	日本語学研究法	日本語の使われ方を観察し、規則やパターンを抽出できるようになる。 コーパスの使い方を理解し、実際に日本語の分析に使えるようになる。			○	◎	
1~3	日本語教育学研究法	日本語学や日本語教育をテーマとした卒業論文・学術論文を書くための概論です。 本講義を通して研究テーマ（課題）の見つけ方、先行研究等文献の探し方、研究の手法、執筆の方法、学会誌への投稿等研究にとって必要な一連の能力を身につけます。			○	◎	
1~3	日本近現代文学研究法	日本近現代文学の小説を、様々な観点から読解することができる。			○	◎	
1~3	中国近現代文化研究法	政治経済文化など各研究分野からの現代中国研究を理解する。			○	◎	
1~3	韓国文化研究法	韓国現代文学史の特徴を理解し、小説を読み解く。			○	◎	
1~3	歴史学研究法A	日本近代史の論文とはどのようなものか、どうやって読めばいいのかを理解する。			○	◎	
1~3	歴史学研究法B	歴史学に関する文献の概要を整理し、重要な箇所やさらに検討すべき点を指摘し、自らの見解を述べる。 他者との議論を通して、文献に対する理解を深める。 定められた時間や書式に従って口頭発表・レポート執筆をおこなう。			○	◎	

1~3	中国語会話Ⅰ	中国語の知識、会話能力の向上、ほかに中国人との交流の仕方について一定の知識を持つことを目指します。			○	◎		
1~3	中国語会話Ⅱ	中国語の知識、会話能力の向上、ほかに中国人との交流の仕方について一定の知識を持つことを目指します。			○	◎		
1~3	中国語作文Ⅰ	学修者が大学2年生レベルの作文力を身につけるとともに、中国について一定の知識を持てるようになる。			○	◎		
1~3	中国語作文Ⅱ	学修者が大学2年生レベルの作文力を身につけるとともに、中国について一定の知識を持てるようになる。			○	◎		
1~3	韓国語会話Ⅰ	本授業は初級に引き継ぎ、 ①多様な慣用表現や語彙を身につけると共にそれを利用して、 ②簡単な日常会話ができる、 ③童話などが読める、 ④日記など簡単な文章が書ける、 ⑤ハングル能力試験3級や4級を受けるほどの実力を身につけることを到達目標にして行う。			○	◎		
1~3	韓国語会話Ⅱ	本授業は初級に引き継ぎ、 ①多様な慣用表現や語彙を身につけると共にそれを利用して、 ②簡単な日常会話ができる、 ③童話などが読める、 ④日記など簡単な文章が書ける、 ⑤ハングル能力試験3級や4級を受けるほどの実力を身につけることを到達目標にして行う。			○	◎		
1~3	韓国語作文Ⅰ	正しい単語や文法を使って、日記など韓国語の文章を作成することができるようになる。また、簡単な韓国語の文章も自由に読むことができるようになることを目標とする。			○	◎		
1~3	韓国語作文Ⅱ	正しい単語や文法を使って、日記など韓国語の文章を作成することができるようになる。また、簡単な韓国語の文章も自由に読むことができるようになることを目標とする。			○	◎		
2~4	日本語の文法	具体的な文法現象を分析、考察することで、日本語の文法カテゴリーについて、より深い理解を促す。また、分析、考察した結果の発表、議論などを通じて、物事を分析的に考察し、説明する力を育む。	○	◎	◎			
2~4	日本語の歴史	日本語が、どのような変化を経て現在に至っているのかを理解する。 日本語の歴史を学ぶことを通じて、音声と音韻の関係や、文字の機能といった、言語学の基本的事項に関して理解を深める。	○	◎	◎			
2~4	日本古典文学史	日本古典文学の時代区分について理解する。 各時代の主要な作品・作者に関する知識を取得する。 それぞれの時代が、日本文学史において、どのように位置づけられるかを説明できるようにする。	○	◎	◎			
2~4	日本近現代文学史	日本近現代の文学史についての知識と理解を深める。	○	◎	◎			
2~4	音声言語・文章表現	・アカデミックな音声言語・文章表現がどのようなものであるかを知り、その構造や基本的な方法論を理解できるようにする ・大学生活で必要となるレポートや論文の書き方、およびプレゼンテーションの仕方の基礎を身につける	○	◎	◎			
2~4	中国文化の現在Ⅰ	(1) 中国の文化・社会現象の背景と意味を知る。(2) 今後自分が中国や外国と関わる上で相手のことも踏まえつつ自分なりの考えを持って表現することができる。	○	◎	◎			
2~4	中国文化の現在Ⅱ	(1) 中国の文化・社会現象の背景と意味を知る。(2) 今後自分が中国や異文化と関わる上で自分なりの考えを持つことができる。	○	◎	◎			
2~4	日本語学特殊講義Ⅰ	論文を読んで、その内容を的確に把握できるようになる。その上で、新たな問いを立てられるようになる。 様々な研究方法の特徴を知り、研究課題に応じて適切な方法を選べるようになる。			○	◎		
2~4	日本語学特殊講義Ⅱ	連用修飾について広く知識を得るとともに、関連する文献を読み、発表をおこなうことを通じて、テーマについてのより深い理解を目指す。			○	◎		
2~4	日本語教育学特殊講義Ⅰ	本授業の目標は次の通りである。授業の内容を踏まえた上で、日本語教育における学習者の視点の重要性とその限界を知ると同時に、日本語教師と日本語学習者が協働で何ができるかについて深掘りしてゆく。			○	◎		
2~4	日本語教育学特殊講義Ⅱ	本授業の目標は次の通りです。 授業の内容を踏まえた上で、日本語教育における学習者の視点の重要性とその限界を知ると同時に、日本語教師と日本語学習者が協働で何ができるかについて深掘りしていきます。 ことばの学習・教育には、ことばの意味の把握は欠かせないものであり、ことばの意味の分析能力は欠かせないものです。 ことばが持つ意味の捉え方を模索し、実際にさまざまなレベルのことばを分析する力を身につけることを目指します。あわせて、ことばの形を作るルールについても考えます。			○	◎		

2~4	日本語教授法 I	学習者支援者としての日本語教師の役割と、学習者にとっての日本語学習とは何かを把握した上で、日本語教授法の基本的知識とコース運営の基本について学びます。 具体的には、日本語の学習活動を支援するために、必要な視点と基礎的な知識を身につけます。 そして、日本語教育におけるさまざまな教授法の概要を知るとともに、その背景理論についての知識も勉強します。		○	◎		
2~4	日本語教授法 II	学習者支援者としての日本語教師の役割と、学習者にとっての日本語学習とは何かを把握した上で、日本語教授法の基本的知識とコース運営の基本について学びます。 具体的には、日本語の学習活動を支援するために、必要な視点と基礎的な知識を身につけます。 そして、日本語教育におけるさまざまな教授法の概要を知るとともに、その背景理論についての知識も勉強します。		○	◎		
2~4	日本古典特殊講義 I	・国語教科書の本文がどのような性質を持つものであるのか、理解することができる。 ・写本・版本の段階に戻って本文を読解することの意義を理解することができる。		○	◎		
2~4	日本古典特殊講義 II	・古典和歌のレトリックについて理解することが出来る。 ・和歌作品を読解することが出来る。 ・勅撰和歌集を軸とした和歌文学史を自分なりに叙述することが出来る。		○	◎		
2~4	日本近現代文学特殊講義 I	日本近現代の詩について、基本的な知識と鑑賞の観点を学ぶ。		○	◎		
2~4	日本近現代文学特殊講義 II	日本近現代の詩について、基本的な知識と鑑賞の観点を学ぶ。		○	◎		
2~4	中国古典特殊講義 I	中国古典を扱う場合、どのような手順で読解をすすめるのかについて学び、習得していただきます。 ・異体字（と正字体）や避諱を理解し、適切に釈文ができる。 ・基本的な文法を理解し、簡単な断句および書き下しができる。 ・本草書の文体を理解し、原文の意味が理解できる。 ・本草学の歴史について初歩的な理解を持っている。		○	◎		
2~4	中国古典特殊講義 II	中国古典を扱う場合、どのような手順で読解をすすめるのかについて学び、習得していただきます。 ・異体字（と正字体）や避諱を理解し、適切に釈文ができる。 ・基本的な文法を理解し、簡単な断句および書き下しができる。 ・本草書の文体を理解し、原文の意味が理解できる。 ・本草学の歴史について初歩的な理解を持っている。		○	◎		
2~4	中国近現代文化特殊講義 I	中国と日本のプロパガンダ芸術（毛沢東様式・ポリティカル・ポップアートと天皇アート）についての歴史、研究状況を理解する。		○	◎		
2~4	中国近現代文化特殊講義 II	日本と中国の代表的な映画監督の仕事を理解する。また昨今の映画やアートのあり方、イデオロギーとの関係、ソーシャル・エンゲージドアートについて考察する。		○	◎		
2~4	中国近現代文化特殊講義 III	(1) 中国の文化・社会現象の背景と意味を知る。(2) 今後自分が中国や異文化と関わる上での自分なりの考えを持つことができる。		○	◎		
2~4	韓国文化特殊講義 I	朝鮮半島の文化史について三国時代から現代に至るまで美術を中心に理解し、基礎的な知識を修得する。また、美術作品が生み出された歴史的な背景にも着目し、その展開について理解することを目標とする。		○	◎		
2~4	韓国文化特殊講義 II	韓国についての議論を傍観するのではなく、議論に加わる知識や技術を鍛えて、議論に参加すること		○	◎		
2~4	韓国文化特殊講義 III	韓国近代文学の流れを理解した上で、その時代の雰囲気や人々の生活について考える。		○	◎		
2~4	音声学 I	音声学の基礎知識を得るとともに実際の聞き取り、発音ができるようになること。		○	◎		
2~4	音声学 II	音声学の基礎知識を得るとともに実際の聞き取り、発音ができるようになること。		○	◎		
2~4	近現代日本の政治と社会 I	近代日本の植民地統治に関する理解を深め、説明できるようになる。		○	◎		
2~4	近現代日本の政治と社会 II	戦後日本における安全保障政策の展開について、諸史料の読解と叙述が可能となる。		○	◎		
2~4	近世日本の社会と文化 I	(1) 日本の宗教史に対する知識および東アジアの宗教に対する知識を身に付け、関連分野での調査・研究に役立てることができるようになる。 (2) 日本の歴史・文化を、国際的な視野から捉える姿勢を身に付け、関連分野での調査・研究に役立てることができるようになる。		○	◎		
2~4	近世日本の社会と文化 II	(1) 日本の宗教史に対する知識および東アジアの宗教に対する知識を身に付け、関連分野での調査・研究に役立てることができるようになる。 (2) 日本の歴史・文化を、国際的な視野から捉える姿勢を身に付け、関連分野での調査・研究に役立てることができるようになる。		○	◎		

2~4	近代アジアの国家と社会 I	19~20世紀の中国における法律制度、訴訟・裁判のあり方の特徴を理解する。 法という角度から、東アジアにおける国際関係史を理解する。 人間と法との関係について再考する。		○	◎		
2~4	近代アジアの国家と社会 II	大陸中国・台湾・香港における法律制度の特徴とその歴史的背景を理解する。 法という視点から東アジアの近現代史を見つめ直す。		○	◎		
2~4	東アジア考古学 I	日本を含めた東アジアの考古学成果について学ぶことを目的としている。詳細な内容はその年度によって変わるが、青銅器、鉄器、玉類といった個別の内容及び、遊牧民の出現、階層化社会の形成といった社会的なトピックを扱う。		○	◎		
2~4	東アジア考古学 II	日本を含めた東アジアの考古学成果について学ぶことを目的としている。詳細な内容はその年度によって変わるが、青銅器、鉄器、玉類といった個別の内容及び、遊牧民の出現、階層化社会の形成といった社会的なトピックを扱う。		○	◎		
2~4	歴史民俗学	日本の旧農村地域の生活文化への理解を深めるとともに、自らその知識を得る方法を身につける。		○	◎		
2~4	Animation Studies I	This course is in collaboration with academics from Australian universities, utilizing online guest lectures. Due to the current pandemic situation, course could be offered as online course. Introducing the academic field of Animation Studies with regards to animation production, animation aesthetics and the role of animation and sequential art in popular culture.		○	◎		
2~4	Animation Studies II	This course is in collaboration with academics from Australian universities, online lectures are a possibility. Introducing the academic field of Animation Studies with regards to animation production, animation aesthetics and the role of animation and sequential art in popular culture.		○	◎		
2~4	The Traditional Performing Arts in Japan	所属専修課程（日本・アジア文化）における特定の専門知識を修得する。		○	◎		
3~4	*Topics in Japanese Studies I	1. To critically examine Samurai culture. 2. To be able to distinguish between the Samurai in our modern imagination and the actual historical Samurai. 3. To identify what influenced Samurai culture, and how Samurai culture influence modern Japan.		○	◎		
3~4	*Topics in Japanese Studies II	The course seeks to familiarize students with a variety of influential Japanese literary works and themes that have shaped the literary tradition. Students will be able to develop their critical reading and analytical skills and build on these to enhance their own research capabilities. All literary texts will be read in English translation.		○	◎		
3~4	*Seminar in Modern Japanese History	This course will take the form of a directed readings seminar and thereby fulfill its first purpose of exposing students to many of the texts and issues that one should know about in order to teach modern Japanese history or to embark on independent research in the field. The second purpose of this course will be to place these works in historiographical context, comprehending the various perspectives individual historians have brought to their work and how their efforts relate to the larger field of modern Japanese historical studies.			○		◎
3~4	*Seminar in Japanese Literature and Theatre I	This course will teach the participants to read medieval and early modern humorous text and to discuss the difficulties in performing and translating laughter.			○		◎
3~4	*Seminar in Japanese Literature and Theatre II	This course will teach the participants to read medieval and early modern humorous text and to discuss the difficulties in performing and translating laughter.			○		◎
3~4	*Seminar in Japanese Literature and Theatre III	This seminar is discussion based and aims to improve the students ability formulate problems in academic texts.			○		◎
3~4	*Seminar in Japanese Literature and Theatre IV	This seminar is discussion based and aims to improve the students ability formulate problems in academic texts.			○		◎
3~4	*中国近現代文化論 I	艾未未の芸術活動を通じて、文化大革命以降の中国現代文化の流れを把握する。現代アートの持つ社会批判性を理解する。			○		◎
3~4	*中国近現代文化論 II	中国現代アート研究を深める。			○		◎

3~4	*東アジア思想	1. 目録とその書籍分類の特徴などについて理解する。 2. 中国文学の基礎を理解する。 3. 中国における書籍の歴史と目録の相関関係について理解する。 4. 中国目録学史を中国学術史の一端を知る手がかりとなることを理解する。				○	◎
3~4	中国古典原典講義	漢文を読めるようになるために、漢文法の基礎を学び、史料読解能力の基礎を作る。 またさまざまな文献に触れて中国古典文献に対する基礎知識を学ぶ。				○	◎
3~4	韓国文化原典講義	韓国語の様々な文体にふれ、その内容や特徴を正確に把握する。				○	◎
2~4	日本語学演習 I	日本語学の学習や研究を自立的に行えるようになるためのトレーニングを行う。具体的には、以下のことを到達目標とする。 ・日本語研究や日本語教育・国語教育における課題を、自らの力で発見できるようになる。 ・文献や教科書に書かれていない事柄でも、自分で調査・分析して答えを出せるようになる。 ・自分が考えたことを、筋道を立てて、根拠とともに、人に説明できるようになる。				○	◎
2~4	日本語学演習 II	日本語学の学習や研究を自立的に行えるようになるためのトレーニングを行う。具体的には、以下のことを到達目標とする。 ・必要な情報を得るための、文献調査の方法を身につける。 ・文献を読んで、内容を理解し、成果や課題を適格に把握できるようになる。 ・調べて分かったことや考えたことを、人に分かりやすく説明できるようになる。				○	◎
2~4	日本語学演習 III	日本語学の学習や研究を自立的に行えるようになるためのトレーニングを行う。具体的には、以下のことを到達目標とする。 ・日本語研究や日本語教育・国語教育における課題を、自らの力で発見できるようになる。 ・文献や教科書に書かれていない事柄でも、自分で調査・分析して答えを出せるようになる。 ・自分が考えたことを、筋道を立てて、根拠とともに、人に説明できるようになる。				○	◎
2~4	日本語学演習 IV	日本語学の学習や研究を自立的に行えるようになるためのトレーニングを行う。具体的には、以下のことを到達目標とする。 ・必要な情報を得るための、文献調査の方法を身につける。 ・文献を読んで、内容を理解し、成果や課題を適格に把握できるようになる。 ・調べて分かったことや考えたことを、人に分かりやすく説明できるようになる。				○	◎
2~4	日本語学演習 V	日本語学の学習や研究を自立的に行えるようになるためのトレーニングを行う。具体的には、以下のことを到達目標とする。 ・日本語研究や日本語教育・国語教育上の課題を、自らの力で発見できるようになる。 ・文献や教科書に書かれていない事柄でも、自分で調査・分析して答えを出せるようになる。 ・自分が考えたことを、筋道を立てて、根拠とともに、人に説明できるようになる。				○	◎
2~4	日本語学演習 VI	日本語学の学習や研究を自立的に行えるようになるためのトレーニングを行う。具体的には、以下のことを到達目標とする。 ・必要な情報を得るための、文献調査の方法を身につける。 ・論文を読んで内容を理解し、成果や課題を的確に把握できるようになる。 ・調べて分かったことや考えたことを、人に分かりやすく説明できるようになる。				○	◎
2~4	日本語教育学演習 I	日本語と日本語事情を同時に学んでいく方法を観察し、実際の授業を組み立てることを学ぶ。				○	◎
2~4	日本語教育学演習 II	日本語と日本語事情を同時に学んでいく方法を観察し、実際の授業の組み立てを勉強します。 日本語教育という仕事と日本語教師の役割を理解した上で、模擬授業を通し、教案の作成・教授法の取り入れ方・教室空間の使い方・教具の取り入れ方・授業中に心がけること等の運用能力を身につけます。				○	◎
2~4	日本語教育学演習 III	日本語と日本語事情を同時に学んでいく方法を観察し、実際の授業の組み立てを勉強します。 日本語教育という仕事と日本語教師の役割を理解した上で、模擬授業を通し、教案の作成・教授法の取り入れ方・教室空間の使い方・教具の取り入れ方・授業中に心がけること等の運用能力を身につけます。				○	◎
2~4	日本語教育学演習 IV	日本語と日本語事情を同時に学んでいく方法を観察し、実際の授業を組み立てることを学ぶ。				○	◎

2~4	日本語教育学演習 V	日本語と日本語事情を同時に学んでいく方法を観察し、実際の授業の組み立てを勉強します。 日本語教育という仕事と日本語教師の役割を理解した上で、模擬授業を通し、教案の作成・教授法の取り入れ方・教室空間の使い方・教具の取り入れ方・授業中に心がけること等の運用能力を身につけます。					○	◎
2~4	日本語教育学演習 VI	日本語と日本語事情を同時に学んでいく方法を観察し、実際の授業を組み立てることを学ぶ。					○	◎
2~4	日本古典演習 I	・くずし字を読解し、翻刻本文・解釈本文が作成できる。 ・古典和歌の特性を理解し、読解のために適切な調査方法を選択することができる。 ・自身の読解を論理的にまとめ、説明することができる。					○	◎
2~4	日本古典演習 II	・変体仮名を読解し、翻刻本文、解釈本文を作成することができる。 ・説話文学作品の特性を理解し、読解のために適切な調査方法を選択することができる。 ・自身の読解を論理的にまとめ、説明することができる。					○	◎
2~4	日本古典演習 III	・古典和歌の趣向を読解することができる。 ・古典和歌の特性を理解し、読解のために適切な調査方法を選択することができる。 ・自身の読解を論理的にまとめ、説明することができる。					○	◎
2~4	日本古典演習 IV	・変体仮名を読解し、翻刻本文、解釈本文を作成することができる。 ・作品の特性を理解し、読解のために適切な調査方法を選択することができる。 ・自身の読解を論理的にまとめ、説明することができる。					○	◎
2~4	日本古典演習 V	・古典和歌の趣向を読解することができる。 ・古典和歌の特性を理解し、読解のために適切な調査方法を選択することができる。 ・自身の読解を論理的にまとめ、説明することができる。					○	◎
2~4	日本古典演習 VI	・変体仮名を読解し、翻刻本文、解釈本文を作成することができる。 ・作品の特性を理解し、読解のために適切な調査方法を選択することができる。 ・自身の読解を論理的にまとめ、説明することができる。					○	◎
2~4	日本近世文学演習 I	日本近世文学を解読する方法を学ぶ。					○	◎
2~4	日本近世文学演習 II	日本近世文学を解読する方法を学ぶ。					○	◎
2~4	日本近世文学演習 III	日本近世文学を解読する方法を学ぶ。					○	◎
2~4	日本近世文学演習 IV	履修登録者が近世期の文学や演劇、浮世絵、さまざまな携帯のメディアの解読や分析方法を学ぶこと。					○	◎
2~4	日本近世文学演習 V	1. 江戸時代の俳諧について、その史的展開や文化的背景を説明することができる。 2. 江戸時代の代表的な俳人の生涯と作風について理解し、説明することができる。 3. 江戸時代の著名な俳人やその代表作について調査したり、学びを深めたりすることができる。 4. 決められた字数（時間）で学習した内容や感想を文章（口頭）表現することができる。					○	◎
2~4	日本近世文学演習 VI	日本近世文学を解読する方法を学ぶ。					○	◎
2~4	日本近現代文学演習 I	明治期から昭和戦後期までに発表された15篇の短編小説を、主に「都市」という観点から読解することを通じて、日本近現代文学研究の可能性を考える。					○	◎
2~4	日本近現代文学演習 II	明治期から昭和戦後期までに発表された15篇の短編小説を、主に「異界」という観点から読解することを通じて、日本近現代文学研究の可能性を考える。					○	◎
2~4	日本近現代文学演習 III	おもに1940年前後の小説表現の可能性を考える。					○	◎
2~4	日本近現代文学演習 IV	おもに敗戦直後の小説表現の可能性を考える。					○	◎
2~4	日本近現代文学演習 V	おもに1940年前後の小説表現の可能性を考える。					○	◎
2~4	日本近現代文学演習 VI	おもに敗戦直後の小説表現の可能性を考える。					○	◎
2~4	中国古典演習 I	中国思想史の一端を知り、漢文法の基礎を学び、史料読解能力の基礎を作る。 またさまざまな文献に触れて中国古典文献に対する基礎知識を学ぶ。 中国思想史の分析方法や先行研究の読み方を学ぶ。 中国の戦国時代の文字を学ぶ。					○	◎
2~4	中国古典演習 II	中国思想史の一端を知り、漢文法の基礎を学び、史料読解能力の基礎を作る。 またさまざまな文献に触れて中国古典文献に対する基礎知識を学ぶ。 中国思想史の分析方法や先行研究の読み方を学ぶ。 中国の戦国時代の文字を学ぶ。					○	◎
2~4	中国古典演習 III	諸子百家のさまざまな論点を読み比べ、中国思想史の一端を知り、漢文法の基礎を学び、史料読解能力の基礎を作る。 またさまざまな文献に触れて中国古典文献に対する基礎知識を学ぶ。 中国思想史の分析方法や先行研究の読み方を学ぶ。					○	◎

2~4	中国古典演習Ⅳ	中国思想史の一端を知り、漢文法の基礎を学び、史料読解能力の基礎を作る。 またさまざまな文献に触れて中国古典文献に対する基礎知識を学ぶ。 中国思想史の分析方法や先行研究の読み方を学ぶ。 中国の戦国時代の文字を学ぶ。					○	◎
2~4	中国古典演習Ⅴ	中国思想史の一端を知り、漢文法の基礎を学び、史料読解能力の基礎を作る。 またさまざまな文献に触れて中国古典文献に対する基礎知識を学ぶ。 中国思想史の分析方法や先行研究の読み方を学ぶ。 中国の戦国時代の文字を学ぶ。					○	◎
2~4	中国古典演習Ⅵ	中国思想史の一端を知り、漢文法の基礎を学び、史料読解能力の基礎を作る。 またさまざまな文献に触れて中国古典文献に対する基礎知識を学ぶ。 中国思想史の分析方法や先行研究の読み方を学ぶ。 中国の戦国時代の文字を学ぶ。					○	◎
2~4	中国近現代文化演習Ⅰ	中国現代アートについての理解を深める					○	◎
2~4	中国近現代文化演習Ⅱ	毛沢東時代と今日の問題を考える (革命模範劇の全貌を知る)					○	◎
2~4	中国近現代文化演習Ⅲ	中国現代アートについての理解を深める					○	◎
2~4	中国近現代文化演習Ⅳ	毛沢東時代と今日の問題を考える (革命模範劇の全貌を知る)					○	◎
2~4	中国近現代文化演習Ⅴ	中国現代アートについての理解を深める					○	◎
2~4	中国近現代文化演習Ⅵ	毛沢東時代と今日の問題を考える (革命模範劇の全貌を知る)					○	◎
2~4	韓国文化演習Ⅰ	映画や小説など様々な「物語」を通して韓国文化に対する理解を深める。					○	◎
2~4	韓国文化演習Ⅱ	映画や小説など様々な「物語」を通して韓国文化に対する理解を深める。					○	◎
2~4	韓国文化演習Ⅲ	映画や小説など様々な「物語」を通して韓国文化に対する理解を深める。					○	◎
2~4	韓国文化演習Ⅳ	映画や小説など様々な「物語」を通して韓国文化に対する理解を深める。					○	◎
2~4	韓国文化演習Ⅴ	映画や小説など様々な「物語」を通して韓国文化に対する理解を深める。					○	◎
2~4	韓国文化演習Ⅵ	映画や小説など様々な「物語」を通して韓国文化に対する理解を深める。					○	◎
2~4	日本史演習Ⅰ	日本近現代史についてのオリジナルな研究ができるようになる。					○	◎
2~4	日本史演習Ⅱ	日本近現代史についてのオリジナルな研究ができるようになる。					○	◎
2~4	日本史演習Ⅲ	日本近現代史についてのオリジナルな研究ができるようになる。					○	◎
2~4	日本史演習Ⅳ	日本近現代史についてのオリジナルな研究ができるようになる。					○	◎
2~4	日本史演習Ⅴ	日本近世史の現在の研究水準を踏まえた問いを自ら立て、史料に基づいた独自性の高い論文構成・歴史叙述・プレゼンテーションができるようになること					○	◎
2~4	日本史演習Ⅵ	日本近世史の現在の研究水準を踏まえた問いを自ら立て、史料に基づいた独自性の高い論文構成・歴史叙述・プレゼンテーションができるようになること					○	◎
2~4	日本史演習Ⅶ	日本近世史の現在の研究水準を踏まえた問いを自ら立て、史料に基づいた独自性の高い論文構成・歴史叙述・プレゼンテーションができるようになること					○	◎
2~4	日本史演習Ⅷ	日本近世史の現在の研究水準を踏まえた問いを自ら立て、史料に基づいた独自性の高い論文構成・歴史叙述・プレゼンテーションができるようになること					○	◎
2~4	東洋史演習Ⅰ	東洋史に関する文献の概要を整理し、重要な箇所やさらに検討すべき点を指摘し、自らの見解を述べる。 他者との議論を通して、文献に対する理解を深める。 定められた時間や書式に従って口頭発表・レポート執筆をおこなう。					○	◎
2~4	東洋史演習Ⅱ	歴史学に関する文献の概要を整理し、重要な箇所やさらに検討すべき点を指摘し、自らの見解を述べる。 他者との議論を通して、文献に対する理解を深める。 定められた時間や書式に従って口頭発表・レポート執筆をおこなう。					○	◎
2~4	東洋史演習Ⅲ	東洋史に関する文献の概要を整理し、重要な箇所やさらに検討すべき点を指摘し、自らの見解を述べる。 他者との議論を通して、文献に対する理解を深める。 定められた時間や書式に従って口頭発表・レポート執筆をおこなう。					○	◎
2~4	東洋史演習Ⅳ	歴史学に関する文献の概要を整理し、重要な箇所やさらに検討すべき点を指摘し、自らの見解を述べる。 他者との議論を通して、文献に対する理解を深める。 定められた時間や書式に従って口頭発表・レポート執筆をおこなう。					○	◎
2~4	Seminar in Visual Communication Design and Media Art in Australia and Asia I	Aim is to provide introduction to basic concepts in visual communication and media art					○	◎
2~4	Seminar in Visual Communication Design and Media Art in Australia and Asia II	Aim is to provide introduction to basic concepts in visual communication and media art					○	◎

2~4	Seminar in Visual Communication Design and Media Art in Australia and Asia III	Aim is to provide introduction to basic concepts in visual communication and media art					○	◎
2~4	Edo Culture and the "Bad Places"	江戸の文化について理解を深め、疑問点について調べる方法や件あを学術論文のまとめること。					○	◎
2~4	Studies in Pre-modern Japanese History I	The objectives of the course are: 1. To trace the birth of the Japanese warrior, its evolution, and its termination. 2. To identify facts from fiction, and reality from misconception. 3. To understand the multi-layers and complexities of warfare and violence in Japanese history. In all, the course will shed light on the topic of Japanese warfare, that, although has been extremely popular in the entertainment world, has been only partly understood and often mis-understood all together.					○	◎
2~4	Studies in Pre-modern Japanese History II	The objectives of the course are: 1. To trace the birth of the Japanese warrior, its evolution, and its termination. 2. To identify facts from fiction, and reality from misconception. 3. To understand the multi-layers and complexities of warfare and violence in Japanese history. In all, the course will shed light on the topic of Japanese warfare, that, although has been extremely popular in the entertainment world, has been only partly understood and often mis-understood all together.					○	◎
2~4	分裂した世界における人権	国際的視野を持ち、国内外の多様な文化および価値観を理解する能力					○	◎
2~4	民族紛争問題	中東の紛争の事例を学ぶことを通じて、世界各地の紛争全般の原因、経過、結果、解決や予防の手法を説明できるようになることを目指す。授業キーワード（下記）を定義づけ、説明できる。関心のある地域の事例について情報収集や分析ができる。					○	◎
2~4	現代のジェンダー	・ジェンダーやセクシュアリティとは何かを様々な事例に即して学び、その基本的な概念を修得していること。 ・自社会におけるジェンダーバイアスを認識し、それをジェンダーの視点から説明することができること ・ジェンダーの視点から、現代社会の課題について、自分の考えをまとめることができること。					○	◎
2~4	現代の民族	・民族の歴史に関する知識を獲得する。 ・グローバリゼーションの中の民族のあり方について理解する。 ・現代世界の諸問題と民族との関係について人類学や社会学等でどのような研究がなされてきたのかを把握する。					○	◎
2~4	比較思想	東アジアの思想的展開を理解することで、多元的文化に向き合う素養を得ることができる。					○	◎
2~4	異文化交流史 I	国境を越えた歴史叙述のあり方を、各テーマに即して習得する。この作業を通じて、広い歴史的視野から異文化を理解するための考え方を養う。					○	◎
2~4	異文化交流史 II	現代の日中関係をめぐる諸問題の背景を理解し、歴史的思考力を身につける。					○	◎
2~4	地中海文化圏講義	翻訳のテキストで、ボッカッチョの「デカメロン」からいくつかの物語を読みます。その中世物語文学の中で女性や恋愛・セクシュアリティがどう描かれているかについて分析します。さらに16世紀の刊本でそれらの表現にどのような検閲が行われたかを見ます。女性や恋愛が、中世においてどのような表現で描かれ、近代的印刷による刊本というメディアの出現の時代、どのような検閲が行われるようになったのかを考えます。さらに20世紀以降の我々の感覚とのズレがどのように生じているのか、現代のメディアにおける女性表象や恋愛観についても考えます。					○	◎
2~4	欧米多文化主義論	アメリカの多文化主義の議論がどのように変化してきたかについて理解する。 アメリカの多文化主義が観光地でどのように実践されているか事例を探し考察できるようになる。 英語の文献を読み議論できるようになる。 授業に関連させた事例を探し考察できるようになる。					○	◎
2~4	世界の中の日本文化	日本・アジア文化における特定の専門知識を修得する。					○	◎
2~4	漢字文化圏比較論	日本・アジア文化における特定の専門知識を修得する。					○	◎
2~4	Contemporary Art and Media in Australia and Asia I	Exposure to art concepts and art works from diverse regions of Asia, Australia and Oceania					○	◎
2~4	Contemporary Art and Media in Australia and Asia II	Exposure to art concepts and art works from diverse regions of Asia, Australia and Oceania					○	◎
2~4	Comparative Higher Education	1.To understand key international higher education components and the historical events of Japanese higher education and the world. 2.To understand issues and challenges of contemporary higher education worldwide with their related policies and practices. 3.To perform your understanding in higher education research by producing research reports on international higher education.					○	◎

4	卒業研究Ⅰ	研究の能力をはぐくみ、すぐれた卒業論文を提出し、口頭発表をおこなうことをめざす。					◎
4	卒業研究Ⅱ	研究の能力をはぐくみ、すぐれた卒業論文を提出し、口頭発表をおこなうことをめざす。					◎